

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2013年6月3日）

■第1版（2008年6月10日発行）、第2刷（2009年7月30日発行）の修正箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
lesson3					
23	9行目	本症例で具体的にいうと	しかし本事例では、		13/06/03
lesson6					
62	下から12行目	アセトアミノフェンは消化器症状が少なく胃潰瘍の患者さんにも	アセトアミノフェンは消化器症状が少なく胃潰瘍の既往があっても		13/06/03
62	下から7行目	日本の添付書では	以前の添付書では		13/06/03
62	下から4行目	(米国では3,900mgを分4～6で投与)	(用量上限4,000mgとなったが1,500mg以上では要肝機能検査)		13/06/03
63	下から3行目	麻薬の指定がなく、ペンタゾシン、 プブレノルフィン と同様に麻薬処方箋がいりません。	麻薬の指定がなく、ペンタゾシン、 プブレノルフィン 、トラマドールは麻薬に指定されていません。		13/06/03
71	表2の欄外	* * デュロテップ®は換算に幅があり注意が必要	* * デュロテップ®はデュロテップMTパッチ®に相当。ワンデュロパッチ®やフェントステープは24時間ごとに投与。アクレフはレスキューに使用。規格と放出量がメーカーによって一致しないので注意		13/06/03
71	上から6行目	・経口モルヒネ1日量60mg－経口オキシコドン40mg－ フェンタニルパッチ2.5mg	・経口モルヒネ1日量60mg－経口オキシコドン40mg－ デュロテップMTパッチ®4.2mg・ワンデュロパッチ®1.7mg・フェントステープ2mg		13/06/03
72	上から7行目	・ フェンタニルパッチ は	・ デュロテップMTパッチ® は		13/06/03
72	用語解説内左欄下から2行目	フェンタニルパッチ2.5mg	デュロテップMTパッチ®4.2mg		13/06/03
72	用語解説内右欄下から8行目	フェンタニルパッチ2.5mg	デュロテップMTパッチ®4.2mg		13/06/03
72	用語解説内右欄下から6行目	今後、舌下剤が開発されると思います。	アクレフ®は必ず200μgから開始します。		13/06/03
73	14行目の下に追加してください		○口腔粘膜吸収剤 フェンタニルのレスキュー製剤アクレフ®。必ず200μgから開始する。効果が無い場合は15分以降に同一用量投与可。		13/06/03
lesson7					
82	10行目	経口モルヒネ1日量60mg－経口オキシコドン1日量40mg－ フェンタニルパッチ2.5mg	経口モルヒネ1日量60mg－経口オキシコドン1日量40mg－ デュロテップMTパッチ®4.2mg・ワンデュロパッチ®1.7mg・フェントステープ2mg		13/06/03
82	20行目	パッチ は72時間(3日間)ごとの	デュロテップMTパッチ® は72時間(3日間)ごとの		13/06/03
83	9行目の下に追加してください		・アクレフ®。200μgから開始。効果がない場合は15分以降に同一用量投与可		13/06/03
89	6行目の下に追加してください		・現在、フェンタニルパッチは製品名および規格の表示が変わり、添付文書も変更されている。テープ製剤もある。フェンタニルの新しい製剤を使用する時は必ず添付文書を確認してください		13/06/03

lesson8

95	下から12行目	は疼痛には効果が少なく代用しません。もちろん、抑うつのある患者さんやパニック障害や社会不安に使用します。	も効果があり、とくにSNRIのサインバルタ®やトレドミン®が適応外であるが使用されている。	13/06/03
97	17行目	・欧米では神経障害性疼痛に対してプレガバリン(Lyrica®)とともに効果のある薬として承認	(vi)プレガバリン(リリカ®) 神経障害性疼痛の第1選択薬。初期量 1回75mg1日2回、最大1日600mg	13/06/03

付録

184, 185	デュロテップパッチの欄:商品名	デュロテップパッチ	デュロテップMTパッチ	13/06/03
184, 185	デュロテップパッチの欄:組成・剤形・用量	フェンタニル貼付薬:2.5mg/1枚, 5mg/1枚, 7.5mg/1枚, 10mg/1枚	フェンタニル貼付薬:2.1mg/1枚, 4.2mg/1枚, 8.4mg/1枚, 12.6mg/1枚, 16.8mg/1枚	13/06/03
184, 185	デュロテップパッチの欄:特徴・注意点・禁忌など	適応は癌性疼痛のみ。	慢性疼痛にも使用可。	13/06/03
184, 185	トラマールの欄:組成・剤形・用量に追加してください		注:100mg/2mL カプセル:25mg, 50mg	13/06/03
184, 185	トラマールの欄:特徴・注意点・禁忌など	非麻薬のオピオイド作用の薬剤。本邦では注射薬のみ。モルヒネ注10mgと同等のトラマールは100mg	非麻薬のオピオイド作用の薬剤。モルヒネ注10mgと同等は100mg注。経口投与は1日4回	13/06/03